

活気ある職場でいきいきと働く

整備した工業団地に進出するなど、地元雇用に貢献する企業。年々企業が増加し、地域経済の活性化につながっています。



株式会社スタンレー宮城製作所

スタンレーグループは高品質な製品をお客様に届けられるよう清潔な環境でモノづくりをすることにこだわっています。さらにお客様に満足いただけるよう常にモノづくりの基本を忘れず、効率よい生産活動につなげるグループ独自の生産革新活動(SNAP)にも取り組んでいます。



1970年スタンレー宮城製作所として登米郡中田町(現登米市)に設立。2015年同市迫町に移転し、電子機器部品や自動車用ランプなどを製造。「未来を照らす光を創る」を目指す。



平均年齢が若く、人間関係もよい、明るい職場です。

高橋 由愛さん(20才)

PROFILE
市内高校卒業後、入社2年目。
生産ラインでの製品検査を担当。
趣味は旅行



株式会社ベジファクトリー

東日本大震災を機にこれまでの野菜栽培に加えて加工に取り組むことを決意し、新会社を設立。ここでカット処理した野菜は、惣菜向けに三和食品へ送り、かき揚げなどの惣菜として販売されています。登米市は米だけではなく、各種野菜も有数の産地。これからも地元産の野菜をより多く使っていきます。



登米市中田町の農業法人中田サンファームと山形県の三和食品が出資し、主に市内産・県内産の加工野菜の製造・販売を目的に2012年12月設立。

仕事もプライベートも充実しています。



鈴木 智明さん(30才)

PROFILE
市外高校卒業後、入社3年目。
現場管理担当。
趣味はカラオケ

沿岸と内陸結ぶハブ都市として注目 企業に選んでもらえるまちに

市独自の各種支援体制を整え 新分野の企業にも誘致活動

企業誘致には、長沼工業団地や市独自の誘致支援制度を整備するなど、積極的に取り組んでいます。これまで、トヨタ東北株式会社をはじめとした自動車関連企業や農業法人などを誘致。11社が操業し、順調に事業を展開しています。

現在、長沼第2工業団地の整備を終え、今後は自動車関連産業だけではなく、食品関連や高度電子機械産業など、新たな事業分野の企業にも誘致活動を実施していきます。

三陸道、東北道の接続進む

登米インター付近に工業団地を整備中

三陸自動車道は市東部にあり、市の西側に沿って東北自動車道が隣接しています。三陸自動車道のインターチェンジは

市内と近接に合わせて5箇所設置され、仙台港や仙台空港のある沿岸部へのアクセスが良好です。
現在、三陸自動車道と東北自動車道を結ぶ「みやぎ県北高速幹線道路」が順次整備。両道路のアクセスも向上しており、登米市は沿岸と内陸を結ぶハブ都市としても注目されています。
また、三陸道登米インター付近に、(仮称)登米インター工業団地を整備しており、2019年分譲開始を予定しています。

交通アクセス

